

すなやま支援員 Vol. 10 だより



平成 31 年 2 月 発行

発行者：砂山地域集落支援員 阿部久美子

拠点施設：ぎよぎよかい めでたや

住所：塩谷 1181 電話・告知端末：62-7273

移動スーパー タビット号 ～自分で見て選ぶ、楽しいお買い物～

買物に不自由する人が増えている中、全国で「移動販売」の取組みが進められています。

現在、関川村や村上市朝日地区を中心に移動販売を行っている(株)村上トラベルサービスの代表取締役、加藤 ^{かとう} 和泰 ^{かずひろ}さんにお話を伺ってきました。



(株)村上トラベルサービス
代表取締役 加藤 和泰さんと、
社員で販売も担当する小池さん

関川村・村上市で移動販売事業を始めて3年になります。

移動スーパー タビット号は軽車両ですが、食料品から日用雑貨まで、300種類以上の商品を備えています。

商品は関川村のスーパーEマートから供給させていただきます。

その他に、岩船・塩谷から毎日届くお刺身、生魚、一夜干し魚類、坂町かねま鮮魚のお惣菜など、皆様に必要とされる存在になれるよう取り組んでおります。



販売担当の高橋さん



コンパクトな車の中にたくさんの品物を見やすく陳列するなど、買い物しやすい工夫がされており、生活に必要なものは一通りそろえることが出来ます。

集落センター等を回りますが、そこまで来られない人にはご自宅まで訪問して販売することもあるそうです。心強いですね！

ぜひ砂山地域にも来ていただくようお願いしてきました！(とりあえず試験的に。)

具体的に決まりましたら皆さんにお知らせしますので、もう少しお待ちください。



砂山のわけしょ

毎週土曜日の夜に、砂山小の体育館でソフトバレーボールを練習している『すなっしー』は、砂山地域の30代～40代が主体のグループです。子育て世代の皆さんにお話をうかがいました。



『すなっしー』の皆さん

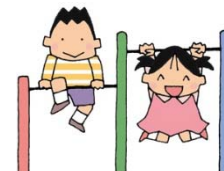
6年前から活動を始め、現在は15名のメンバーで和気あいあいと活動しています。
(ご本人たちの希望で、顔がアップで写っている写真はNGに。みんな「めめよし」なのに残念!)

いいね!



まずお聞きしたのは、「自分の子どもに地元に残ってほしいと思いますか?」という問いです。

| | |
|------------------------|----|
| 結果は、「残ってほしい」 | 0名 |
| 「残ってほしいが、残らなくてもやむを得ない」 | 1名 |
| 「どちらでもかまわない」 | 6名 |
| 「残ってほしくない」 | 0名 |

 でした。

「どちらでもかまわない」が圧倒的に多かったですが、その理由をお聞きすると、「子どもの意思を尊重したい」、「本人の行きたいところに行ってもらいたい」、「自由に生きてほしい」等の声が聞かれました。

わずか7名のアンケート結果ではありますが、皆さんはどのように感じられたでしょうか。

おそらく、世代によってもかなり感じ方が違うのではないかという気がします。

子どもには自由に生きてほしい。でも、少子化で子どもが減り、他所へ出ていく若者も増えるということは、地域が淋しくなり、地域を担う人がいなくなるということでもあります。

人が減っても、ここに残る人が元気に生き生きと暮らしていけるようにするには、どうすればいいのでしょうか?

う〜ん。超難問ですネ。…ぜひ皆さんの声もお聞かせください!



ちなみに、「子どもや若者に魅力のある地域にするには、何が重要だと思いますか?」という問い(複数回答可)に、全員一致で○をしたのが、「魅力のある仕事(職場)」でした。

20代くらいの若者たちにも話を聞いてみたいと思っています。

すなやま支援員だよりについてご意見、ご希望がございましたら、お気軽にお問合せください。

E メールアドレス: sunayama-shien@sea.plala.or.jp